



鷺の宮卓話

万有引力

太田敬雄

私は「万有引力」とは重力を持った物質に限定されたものでは無いと思っていました。確かに「万有引力の法則」は“law of universal gravitation”と表記されているように、重力、つまり Gravitation に関する法則なのです。それは存在するすべての物体がお互いに引き寄せる作用を及ぼし合っているとするもので、その法則は数式によって表されています。

ニュートンが「リンゴが木から落ちるのを見て発見」などと言われたりもしていますが、リンゴの話はむしろこの法則の説明に使われた例のようです。

重量を持つ物体に限定しての物理学的法則ですから、当然重力を持たないものは含まれないのです。しかしこの法則が「万有引力の法則」と訳された時、そこに翻訳では必ず生じる「ブレ」が生まれました。「万有」はすべての物、「万物」に加えて「万象」つまりあらゆる現象が含まれた表現になったのです。私はこの「万象」を含めた方が宇宙の真の姿を現しているような気がするのです。

最近谷川俊太郎の訃報に触れ、彼が1952年に発表した詩「二十億光年の孤独」の中に「万有引力とは／ひき合う孤独の力である」とありました。「万有」の持つ意味を広く捉えた詩的表現に私は昔からひそかに思っていたのと同じ視点を発見したのです。

私は重力を持つか否かを超えて、全ての人、すべての存在が「ひき合う力」を有しているの

だと思っています。

国際比較文化研究所で長年にわたって実施してきた多文化交流では、あらゆる違い…つまり国境も文化も価値観も、世代も全てを超えて「友だちになる」ことを目指して活動してきました。それは全てに存在する「ひき合う力」を信じて、それをフルに発揮させようとする試みです。その「ひき合う力」に身をゆだねれば、違いを認め合う友達となることが出来ると確信してスタートした活動です。

さらに、多文化交流でスタートした友達の輪で地球を覆うならば、そこに平和な世界が出来ると確信しての活動でした。それは政治も、宗教も希求しながらも結局は実現することのできないであろうゴールなのです。

キリスト教では「平和を造る人々は、幸いである／その人たちは神の子と呼ばれる」（聖書協会共同訳マタイ5：9）と教えています。平和を造る人となるには、宇宙を導く万有引力、つまりひき合う力に身を委ねてすべての人と友となる以外に無いのだと思うのです。

このような思いでスタートした国際比較文化研究所の多文化交流を大学生時代に経験してきたOB/OG達の何人かが言い出して研究所のホームページを作成してくれたことは既に報告済みですが、そこに関わった人たちが中心になって、今年の12月7日に多文化交流の同窓会を開催してくれました。30名を超える参加者の中には初期の頃に参加して今は40歳近い者たちから現役の20歳前後の者まであり、また中には子連れでの参加もありました。次ページに参加者の感想を掲載させていただきます。

# 国際比較文化研究所 25 周年記念 & OBOG 同窓会

2024 年 12 月 7 日午後 3 時～ 於：グランビュー高崎

敬称略



**太田 琢雄** 学生時代に交流イベントに参加し、企て、友だちの輪を繋げていった皆さんが、時を経てまた面白いことを企て集まって、世界をもっと繋げてくれました。残念ながら来れなかった友だちも含めて、IIMS に関わる全員にとって価値のある時間だったと思います。外は寒かったけれど、心はポカポカしましたよ。

IIMS25 周年「みんながって、みんないい」「みんながって、平和な世界」その祈りのような確信が、いつまでも続きますように。

## 横井 宏行・ウィンディ

記念すべき IIMS25 周年の会に立ち会えましたこと、大変嬉しく思います。同窓会では懐かしい面子と語り合ったり、初めましての先輩・後輩や現役学生など多くの方とお話しすることができました。会場に集まった子ども同士も歳が近く、子どもたちの世代でも繋がりが生まれれば良いなと勝手ながら期待してしまった自分もいました。IIMS を通じた繋がりが、もっともっと大きな輪となって成長していきますように。





**須田零香** 私が多文化にであったのが、去年の夏で、25周年の中で一年くらいしか関わっていません。しかし色々な人と繋がり、また出会いがあり、そして繋がっていく瞬間を実感できたことが、不思議で素敵で、「もっとはやく多文化に出会いたかった」とつくづく思います。

私の中でも、人との出会いを大切にしていきたいという信念があり、その思いと併せても、多文化の友達の輪を広めて平和な世界となるよう、動いていこうと改めて考えました。本当に多文化に出逢えたことが、人生で重要な出来事となり、多文化本当に大好きですし、感謝しています

自分にとって多文化で会った方たちは本当に大きな影響を受けています。これからはずっと多文化に関わり、繋がりを広め、また繋がっていくことを楽しみに活動していきたいと思います。 2025 冬のスタッフも頑張ります！

**日下浩樹** OBOG 有志による新 HP 完成祝いに様々な世代、国のメンバーが集まり、学生の頃に負けないくらい楽しく盛り上がる事ができました。この為に韓国から飛んできてくれたり、3次会までテンション変わらずみんなでワイワイ盛り上がるのは流石多文化メンバーだなど(笑)。

今回の同窓会の幹事を務めさせていただきました私(あだ名:くさぴー)受けた一人です。元々は英語が絶望的に苦手、海外へも偏見を持っていた

学生でしたが、日本語で交流できる会があるという話を聞きつけて興味を持ち、はじめましての太田先生に急いで会いに行ったのを良く覚えています。そして2008年に初めて多文化交流(in草津)に参加して以来、一気に世界が広がって完全にハマってしまい、2017年まで10年間を参加者として、それ以降は現在まで食事ボランティア、富士山登山や忘年会といった多文化参加経験者向け個人企画、HPリニューアル実行委員会等、長いこと様々な方面で関わってきて、沢山の経験や視野、仲間を得ることができ、パートナー(\*優生さん)とも出会うことができました。

1度多文化参加するだけでも仲間も楽しさも得られますが、そこで得られた仲間との繋がりを多文化交流の時だけ、その時代での縁として思い出として終わらせてしまうのは勿体ないと思っています。太田先生がおっしゃるように、私も多文化交流の企画に関わりのスタートであり、何年経っても人生の仲間として会って楽しみ合え、更に世代も超えて多文化の繋がりが広がり続けてほしいと願っています。

『国際比較文化研究所25周年記念・OBOG同窓会』はそんな繋がりがとても感じられる会だったなと思います。卒業後何年も経っているけれど集まって楽しみ、世代が重なった事も無かったメンバー同士も仲間になっていく姿を見て、とても良い同窓会になったなと感じています。



**内野春香** 久しぶりの方も初めましての方もすぐに打ち解けてしまう、多文化交流パワーを改めて感じた時間でした。話せなかった方もたくさんいて悔しいですが、これからはこの縁を大切に繋いでいきたいと感じました。

準備してくださったみなさん、本当にありがとうございました。



中央:内野 右:林

**林裕佳(旧姓:橋場)** 今回は、10年ぶりの高崎で、多文化の活動からはだいぶ遠のいてしまいました。でも、お久しぶりの方も初めましての方も、いつも通りな感じで接していただいて、あー、これこれ!ってなりました。お子も一緒に参加しましたが、人見知りせず、子供はすごいなーと感じました。

この子供達が気持ちよく過ごせる世の中になっていくことを願い、これからもみなさんとの交流をしていきたいです。次は親子多文化希望します!

エルヴィナ・クスマ・デウィ（ニックネーム：ニナ） 2015年の夏に参加した多文化交流は一生忘れられない思い出になりました。当時まだ大学3年生の私は、人生初の海外旅行として大好きな日本に行けという信じられない出来事でドキドキわくわくでした。多文化交流に参加できたのは「国際比較文化研究所」が「第1回ぐんまカップ：スピーチとエッセイコンテスト in マラン」で入賞したからです。

10年前に、初めて出会ったぐんまカップのスタッフや多文化交流で出会った仲間（参加者と食ボラ）が国籍も関係なく、宗教も関係なく、心の底から友達なんだねって思える人です。その時がスタッフと一緒に歌った歌「Secret base-君がくれたもの」の歌詞、「10年後もまた出会えると信じて」が今、現実になりました。奇跡です！



今回の「同窓会」に参加したきっかけも偶然で5週間の「日本語国際交流基金日本語国際センターの日本語教授法訪日研修」滞在期間中にこの同窓会があり、参加すると決めました！

群馬に来るのも久しぶりだし、多文化メンバーと会うのも久しぶりですが、同窓会での久しぶりの人たちとも会えて、初対面の人とも繋がられて、多文化の子供まで会えることがものすごく感情が爆発でテンションが上がってしまいました。これからまだまだこのテンションで多文化のみんなと会えるのよね？

国際比較文化研究所の「みんなちがって、へいわなせかい。」その一言をこれからもみんなと力合わせて、そのバトンタッチをもらって、世界中の人々に多文化交流の楽しさを感じてほしい！！こんな小さな単純な「地球にいる仲間たち」さえいればこれからは戦争がない世界はカンタンなんじゃないかな！

これは、高橋優さんの福笑いという歌の歌詞ですが「きっとこの世界の共通言語は英語じゃなくて笑顔だと思う」

高草木美佑 HP リニューアルにあたりデザインを担当させていただきました、ぴよと申します。HP 作成の経験はありませんでしたが、他のエンジニアメンバーのバックアップをいただきながら無事に完成させることができ安心しています。研究所のHPは国籍・老若男女問わ



左から2人目：高草木美佑

右端：根岸大輔

ず様々な方が訪れるので、まずはとにかくシンプルに、誰が見ても必要な情報に辿り着けるように見やすくすることを意識しました。また、たくさんの活動写真や、ロゴの緑を含めた白黒以外の色の組み合わせにすることで、研究所らしいやさしい雰囲気になっています。先日の同窓会では、HPのお披露目を含め、久しぶりの再会や初めましての方々と楽しい時間を過ごすことができました。HPを見た方に研究所のあたたかさが伝わるようなHPに仕上がったと思いますので、ぜひご覧ください！

根岸大輔 今回の同窓会を一言で言うと、とーっても楽しかった！その一言に尽きます。学生時代によく多文化中毒と言っていましたが、久しぶりにその時の気持ちになりました。様々な国の人たちとお互いを尊重しながら、友達の輪を広げる多文化交流。大人になっても変わらずこうしてワイワイできるところがあること、本当に貴重で最高だなあと再確認しました。改めてこの様な会を開催していただきありがとうございました！

斉藤浩平 同窓会の参加者の中には、しばらくIIMSのコミュニティから遠ざかっていた方も多くいた。そんな方々がこの機会にと遠方から参加してくれた。いつの間にか母となり子どもを連れてきてくれた方、同窓会のためだけに海外からきてくれた方。そんな姿を見て、自分と同じように、IIMSの活動が何年経っても風化しない思い出として皆の中に残り続けていることを実感した。私も30歳を迎えて思うことは、何年も続く友だちの輪というものがどんどん貴重になっているということ。久しぶりに会っても出会った当時と変わらない温度感で接することが



できる。このような環境に居ることができているのはつくづく運が良いと感じる。限られたことにはなっても、自分ができる形でこれからも活動に協力していきたい。

**ロス (Rosdiana Febriyanti)** 今回の同窓会を開催していただきありがとうございました。多文化のメンバーの力でホームページをリニューアルできるのも大変素晴らしいです。素敵な集まりの機会をつくっていただき感謝しています。多文化マランや多文化群馬に出会えた人たちに数年ぶりに再会し、すごく感動しました。アルバムを開いた瞬間のような感覚でした。再会した瞬間にキラキラ昔の思い出が蘇ってタイムスリップしたような空間でした。多文化交流の懐かしさや、新しい発見が詰まった会で、参加して本当に良かったです。これが平和の一つだろうと実感し、これからももっとこのような機会ができるのを願っています。



**パク・ジュヒョン (ニックネーム：カン)** 私は韓国から参加させていただきました。



2014年多文化 in 群馬夏を始め、2019年まで群馬、静岡、韓国釜山、インドネシアマラン、群馬カップなど多様な活動をしてきました。

しかし、2020年 COVID19 が流行り海外どころか、外出さえ難しくなって学校の授業もオンラインで受けるようになり、1年以上人に会うことない生活を続けてきました。そしたら人と話すことも連絡もどんどんできなくなり、やがて'人が怖い'と思うようになったのです。

何年が経ち、多文化交流が対面で再開すると聞いて参加したいと思いましたが仕事の都合もあり、参加している自分の姿が想像できなくて諦めました。

その後、多文化の友達から忘年会の参加を誘われました。たくさんの人が集まることに恐れを感じましたが、それでも多文化交流の暖かさをもう一度感じたくて、忘年会参加するために飛行機に乗ったのです。

結論から言うと参加してとても幸せでした。

行事が始まる 3 時前に多文化交流が行われた学習の森が見たくて安中駅から歩いて行ってきました。歩いている時に財布をなくしましたが、安中警察署に届けられており、'ひげじい'太田先生や多文化の友達に手伝ってもらって受け取ることが出来ました。そのせいで忘年会には遅刻してしまいましたがそれでもみんなは歓迎してくれました。

国も人種も性格も違うかも知りませんが、10年前二泊三日会っただけなのに10年ぶりに会っても笑顔で話せることができるのがどれだけ不思議なことなのか。これが多文化交流の力だと思います。

生きてきた時間と場所は違いますが、こうやって友だちになりたい、また会って遊びたいという簡単な気持でも重なって行けばお互いを分かち合うことができ、それが争うことなく平和への道になれるのだと思います。

今回の忘年会に参加して懐かしい人と出会って新しい人と出会ってお互いの違いを理解しながらいろんな会話をしました。また、多文化交流に参加していろんな人たちと話したいと思うようになりつつ、もう'人が怖い'と言う気持は薄くなったと思います。 多文化交流のみんなありがとう！！ また遊ぼう！！



前列右：脇優美

### 脇優美

幹事の皆様、準備運営ありがとう！来られた人へ、会えて嬉しかったよ！来られなかった人へ、また会おうね！

同窓会となれば懐かしい面々が大集合しており、「わきもう 30 になったよー！」と、自分で言ったにも関わらず、その現実思わず驚いた。初めて多文化交流に参加したのが大学 1 年生の頃なので、当時 18 歳、その時の自分が今では 30 歳になり、あれから 10 年以上の歳月が流れていることに、改めて時の流れの速さを突き付けられた。大学卒業以来会っていない仲間もいたので、約 10 年ぶりの再会を果たしたことになるのだが、いや、何も変わってない！

〈次ページへ続く〉

〈p.5 より続く〉 空気感があの時のまま、多文化交流の空気、心地よい！更に、初めましての仲間もいたが、多文化交流あるある「友達の友達は友達」が自然と発動する空気感、心地よい！何を言うでもなく、年齢や国や文化は一旦置いておいて、「友達の友達は友達」だから同じ空気の中に溶け込めるこの感じ！何年時が経とうが、この居心地の良い空気はこれから先も変わらない、ということの底から確信できた。そして、この空気に包まれていたのはOBOG だけではない。今 IIMS の活動の最前線に立ち引張ってくれている現役世代も、同じ空気に包まれていた。たとえ初めての出会いでも、同じ空気感の繋がりがあれば、世界中のどこにいてもこの心地良さは変わらないと思うし、これから先も、この繋がりを、もっともっと広げ続けていけると感じた。

多文化交流の虜になって以来、世界中で開催された多文化交流イベントに参加して来たが、公式な「同窓会」はもしかして初開催？ 記念すべき大きなイベントに参加することができ、IIMS のみんなとの最高の思い出がまた増えた。IIMS、25 歳おめでとう！これからもお互い変わらず一緒に大きくなろうね！

**太田敬雄** 今回の同窓会は公式には第 1 回の同窓会だった。こうして参加者から感想を頂戴して見ると、私が多文化交流について思っていることは、全て OBOG が語りつくしてくれている！こんなに素晴らしく、嬉しい OBOG の言葉は私の思いをはるかに超えている。次の四半世紀を限りなく楽しみにしてくれた同窓会だった。感謝！  
〈紙面の都合で、無断で編集させて貰ったことを詫び、感想を書いて貰えなかったメンバーにも詫びたい。〉

## 会費及びご寄付のお振込みについて：

### 【クレジットカードによる手続き・お振込み】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページからアクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ  
<https://iims-japan.org/>

### 【振込用紙によるお振込み】

郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974

ニューズレターを郵送させていただいた皆様には、振込用紙を同封させていただきます。これは請求書ではなく、一律に皆様にお送りしているもので、すでに会費をお振込み下さった方にもお送りしています。

メールでニューズレターをお送りしている方々には振込用紙をお届けできません。特に会費の請求はお送りしておりませんが、郵便局の振込用紙、もしくはカードでお振込みくださいますようお願いいたします

大勢の皆様のお会費やご寄付に支えられて今年も活動を発展させています。有難うございます。  
ご入会状況／会費・寄付振込 (24. 10.21.~12.15.) カード振込(~24.10.31.)

皆様の変わらぬお支えに励まされて活動を続けています。有難うございます。

正会員入会：恩幣宏美 (再入会)

賛助会員入会：茂木光、

学生会員入会：塩谷万葉、小泉美咲、アナック・アグン・グゲ・デクリスナ

正会員会費：小井戸登志子、金井美由紀、高尾善樹、恩幣宏美、

賛助会費：清水久美、茂木光、永田強一、金井優季、

一般寄付：中町文彦、茂木光、岩本松江、永田強一、山縣英明、村井田和夫、金井美由紀、

毎月寄付：樋本達之、根岸大輔、Rosdiana Febrianti、藤本恵大、内野春香、片岡謙、清水理沙、

編集後記：☆今号は「多文化交流同窓会」特集号のようになってしまった。参加者全員には書いて貰えなかった事も残念だ。

☆最近にはない 6 ページになったが、郵便料金の改定で、送料は上がったが、8 ページまで同じ料金で送れるようになったことに感謝。メール添付がどこまで可能か案じて居ます。

☆2025 年希望溢れる良い年となりますように。

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所  
事務所：379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3  
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393  
研究所 HP：<https://iims-japan.org>  
メールアドレス：[iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com)  
まなばる HP：<https://manapal.jp>  
メールアドレス：[mail@manapal.jp](mailto:mail@manapal.jp)  
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974